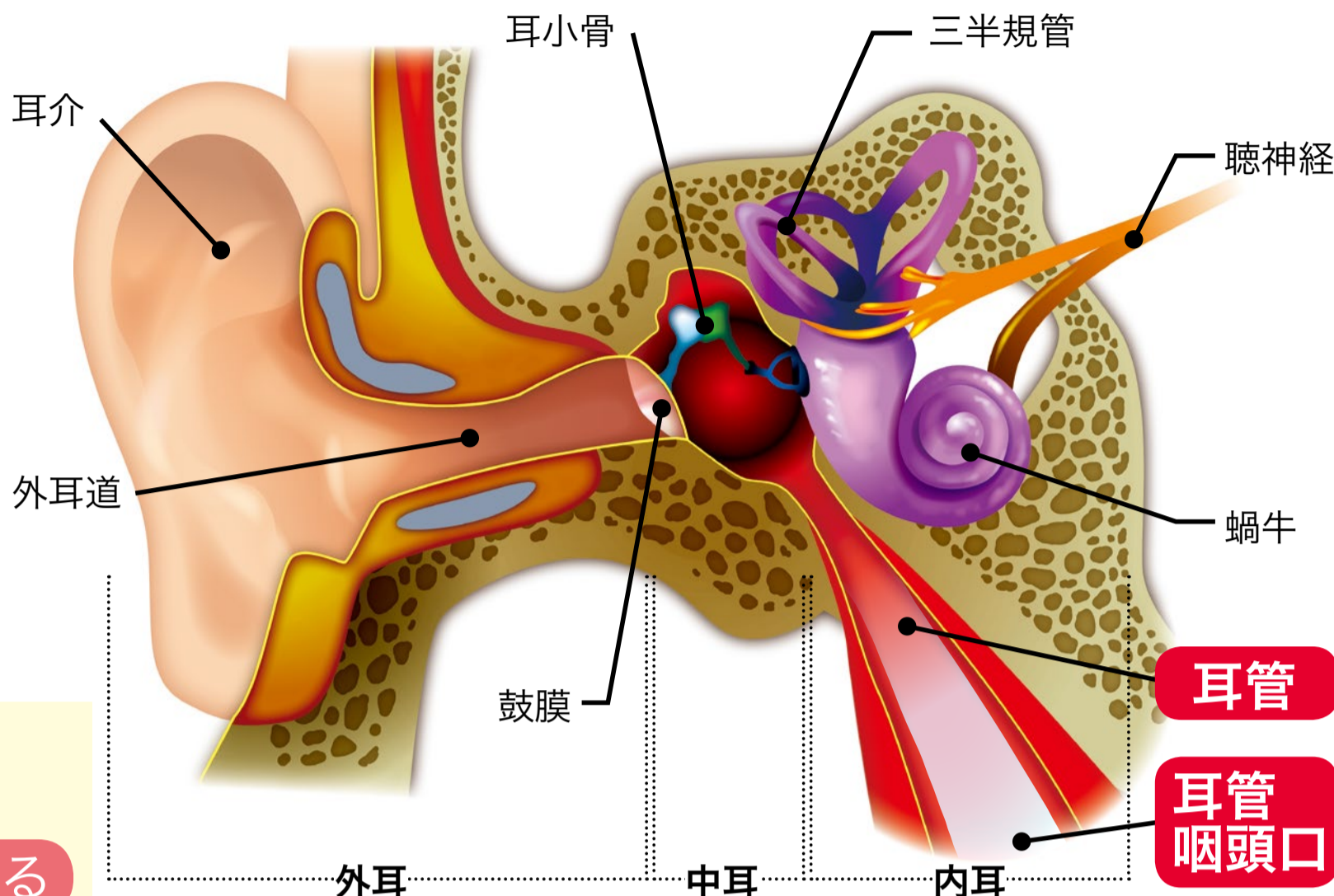


自分の声が  
大きく聞こえる

# 耳管開放症

監修：笠井耳鼻咽喉科クリニック  
院長 医学博士 笠井創先生

耳管は、中耳と鼻腔、喉の奥を結び、中耳内の換気を行う器官です。耳管の咽側の出口を耳管咽頭口といい、通常はあくびをしたり、ものを飲み込んだ時だけ開きます。耳管開放症とは耳管が開き気味で閉じにくくなった状態の病気です。



## 主な症状

自分の声や呼吸音が大きく聞こえる

耳が詰まったように感じる



これらの症状が横になったり、頭を下げた状態の時は軽くなる

## 診断

● 頭を下げたり、横になった時に症状が軽くなるかどうかを観察



● 「耳管音響法」という検査を行う(鼻孔から器具を入れて音を発し、その音が外耳道から入れたセンサーで感知できるかどうかを調べる)  
→ 耳管が開いていると長い時間音を感知できる

## 原因と誘因

- はっきりわかっていないが、耳管の周囲の脂肪組織や筋肉が萎縮することが原因のひとつと考えられている
- ダイエットや病気などで体重が急に減った時に発症する人もいる

## 治療

現状、決定的な治療法はありませんが、以下のような方法で症状が軽減する場合があります。

急激な体重減少が原因の場合、体重を増やすことでよくなるケースもある

耳管咽頭口に生理食塩水などを注入する

耳管内にシリコン、耳管ピンなどを挿入し、耳管を狭くする

漢方薬などを投与する



## 耳管開放症と間違いやすい病気「耳管狭窄症」

耳管が狭くなることにより、耳管の通気が悪くなる病気です。耳管開放症同様、「耳が詰まった感じ」「自分の声が耳の中に響いて大きく聞こえる」といった症状があります。風邪や副鼻腔炎によって耳管が炎症を起こし、粘膜が腫れることが原因で発症することがほとんどなので、原因となった病気をきちんと治療することが大切です。